CASE 12｜多文化・4言語対応・母語と日本語の両立

家庭の母語と日本語の間で戸惑う 園や小学校の就学手続きが不安

日・英・ポルトガル・スペイン語の4言語常勤スタッフが、母語を守りながら日本語と就学を支えます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 家で外国語を話しており、言葉の遅れが二言語環境のせいか悩んでいる
- 日本の保育園での生活ルールや、小学校・支援学校の就学手続きが不安
- 療育での様子や家庭での困りごとを、母語で細かくスタッフに相談したい

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
おうちの「母語」は親子の絆と思考の土台！やめないでください

国際的な発達科学研究(Hambly & Fombonne, 2012)により、二言語環境が発達の遅れの原因ではないと実証されています。母語の安心感を守りながら絵カードで日本語へ橋渡しします。

お子さまとご家族のニーズに合わせた「2つの多文化ブリッジ支援」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:お子さまの日本語理解・園生活を伸ばしたい時
常勤スタッフが母語と絵カードでお子さまの緊張をほぐし、『母語の言葉 ⇔ 視覚カード ⇔ 日本語の言葉』を遊びの中で自然につなげて伸ばします。

■ B:受給者証・園連絡・就学手続きでお困りの時
ポルトガル語・スペイン語・英語・日本語で連絡帳や面談に対応し、市役所手続きから保育所・小学校・支援学校との連携まで母語で伴走します。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



言葉の壁による孤立感
家庭言語と園言語のギャップでお子さまが緊張し、保護者も孤立しがちです。

02 母語受容



4言語対応で心を開く
日・英・ポルトガル・スペイン語で温かく迎え入れ、親子の安心感を守ります。

03 橋渡し



絵カードで生活日本語
視覚カードとごっこ遊びで、園や学校で使う生活語彙(「かして」等)を育てます。

04 育つ姿



母語の誇りと就学自信
母語の絆と日本語のやり取りを両立し、園・小学校・支援学校へ笑顔で進みます。



実践① 4言語(日・英・葡・西)対応窓口
連絡帳から行政手続まで母語で対応
受給者証の申請手続きから、日々の療育でのお子さまの成長報告、就学相談票の作成まで母語で丁寧に伴走します。



実践② 在籍園・学校との多文化連携会議
家庭の文化を尊重し園・学校と橋渡し
保護者の同意のもと、保育所・幼稚園や就学先の小学校・特別支援学校と定期カンファレンスを行い、ご家庭の意向を共有します。

◆ ご家庭へのメッセージ（Português / Español / English 対応）

ご家庭ではお父様・お母様が一番自然に愛情を伝えられる母語でたっぷり語りかけてください。母語で育った「心の土台」の上に、私たちが日本語と生活ルールを楽しく積み上げます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談